

翔 たけ

題字 小笠原 孝

第 22 号

平成26年8月1日

発行

一般財団法人

小笠原アカデミー
教育振興財団

〒041-0821

函館市港町3-18-15

TEL 0138-45-3911
本社 (総務部)☎ (0138)
45-3911代

実るほど頭の垂れる稲穂かな
ドナルド・キーンさんの姿に学ぶ
函館市文学館

館長 藤井 良江

ご縁があつて、公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団函館市文学館で勤めさせていただいて三年目になります。この間、文学館に展示されているさまざまな作家・彫刻家等のゆかりの方々とお会いしお話を伺うなど得難い経験を見せていただいています。一昨年の啄木没後百年の年にはゆかりの地での催し物で啄木の曾孫さん石川真一氏とお目にかかれたことも忘れられない出来事でした。

今年四月には、函館啄木会と当財団が主催した「啄木没後百年記念追悼講演会」日記にあらわれる「啄木」の講師としてドナルド・キーン氏が来函されました。「歓迎の歌」を歌ってくださいました大沼在住の作家で作詞・作曲家の新井清氏が「これは単に出来事ではなく、事件です。」と言われましたが、主管の文学館にとりましても正に「大きな事件」でした。

ご存じの方も多いと思います。ドナルド・キーン氏は、アメリカニューヨーク生まれの御年92歳。日本文学・日本文化研究の第一人者であり国際的な権威であります。小・中・高校を通じて常にクラスで一番をとるほど優秀で、何度か飛び級をして16歳でコロンビア大学に入学されました。コロンビア大学在学中の18歳の時に読んだ「源氏物語」に感動して日本文学や日本文化の研究を志したそうです。コロンビア大学大学院、ケンブリッジ大学を経て1953年に京都大学大学院に留学し、日本文学研究の傍ら、伝統文化にも意欲的に触れられました。帰国後は、コロンビア大学で日本文学を教えながら毎年日本を訪れ、谷崎潤一郎や三島由紀夫など日本の名だたる作家たちと交流を深められました。そして、古典から現代文学に至るまで広く研究し、海外に

紹介して日本文学の国際的評価を高めるのに多大な貢献をされました。豊かな学識に裏打ちされたその研究の幅広さは、「徒然草」などの翻訳、芭蕉の研究など、古典から現代に至る日本文学はもとより、能や狂言、歌舞伎等の古典芸能、そして歴史にまで及んでいきます。また、日本の日記文学について著した「百代の過客」は、内外に大きな反響を呼びました。さらには、同氏のライフワークともいえるべき大著「日本文学史」は、個人執筆の文学通史として日本国内でも高い評価を受ける一方、海外においては英語で書かれた初めての体系的な日本文学史として、後に続く研究者たちに大きな指針を与えました。

そのキーン氏は石川啄木研究者でもあります。啄木文学を高く評価し、中でもローマ字日記は最高傑作と評されました。

2011年3月の東日本大震災後、被災地の懸命に生きる人々の姿に、「いまこそ私は日本人になりたい」と日本に帰化したことでもよく知られています。

そのような偉大な方をお迎えするに当たって、失礼があつてはならないと私たちは非常に緊張しま

した。しかし、三日間一緒に過ごさせていただいた氏は、たいへん気さくで笑顔をたやさない優しい方でした。そして、日本文学や日本文化について、深い理解と愛着をもっていらつしやるのがひしひしと伝わってきました。何より、謙虚で奥ゆかしい物腰、上品で丁寧な日本語―古き良き時代の日本人の姿がキーン先生の中に息づいていることに、大きな感動とともに、この国に生まれた者として感謝の気持ちでいっぱいになりました。

92歳の今もお、学者としてひたむきに研究を続けていらつしやるキーン氏は、「啄木が一番愛した街は函館です。」という言葉を残し、関係者にたくさんの謝意を伝えてお元気に帰函されました。「実るほど頭の垂れる稲穂かな」の見事なおお手本を見る思いがいたしました。

これまで、小笠原アカデミー教育振興財団が、夢と希望をもって学びを広げようとする若い世代に力強い応援をし続けてこられたことに對して、心からの敬意を表するとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。



日々是新

一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団理事長
「小さな親切」運動函館支部 支部長

小笠原 孝

小笠原アカデミー奨学財団も一昨年業容も拡充し、奨学金貸与の他、教育振興の一助になればという事で助成金を加えた。

教育現場は勿論の事、PTA活動、或いは施設整備に関わる事、等々についても金額によるけれども助成する事にした。

昨年度は種々検討の結果、助成する団体の申請が二件あった。受給された団体の助みにつながったと自負している。今年も更に周知徹底につとめ、頑張っ

て参ります。振り返って見ると、私の父が昭和五十四年に他界、生前より教育の振興について特別の思い入れがあり、自分の遺産の一部でも役に立つようにと願っていた。その意志に対して翌年に、奨学金制度を設

立、初代理事長に小笠原金悦、そして私が二代目理事長に就任、今日に到っている。

昨今の諸般の社会情勢などから奨学金受給申請者が少なくなる傾向にあった。今一度、設立の精神を引継いでいくべく、今回の様に利用者の掘起しを継続する。

新制度により一般財団法人教育振興財団として、奨学金、助成金の二本の柱を打ち上げ、広く関係者の皆様のご意見を賜り、浸透を計るべく日々つとめている。その為にも手始めに、市内の大学、短大、そして高校等にはこちらから申請依頼をお願いに、学長、事務長様に直接説明をして数日間には訪ねをした。お陰様で数校から優秀な学生の奨学金受給希望者を推薦していただいた。又、市

教委様、渡島教育局様とも連携を密にして、教育振興の希望校、団体等の推薦方を依頼した。大変好意的に受止めて戴きました。こんな嬉しい事はなかった。

冒頭の「日々是新」毎日々を有意義なものにする為に心して、期待に添う教育振興の方向を見つめ、新しい物を追い求めていかなければと思う。

今、教育問題は大きな転換期を迎えている様だ。教育委員会の新制度も策定され、未来を背負って立つ青少年の育成は究極の課題でもある。微力ではあるが、父が残した教育振興の理念を忘れる事なく、日々新たなアイデアを考え、目的遂行の為、努力する決意を新たにしている昨今でもある。

幸いにして事務局も新たな人員も含めて体制を整いつつあり、キメ細かな方策を考えていかなければと思う。

私の好きな言葉に「真面目に一生懸命努力すれば必ず報われる」この言葉を噛みしめて努力している学生等に、今一度お手伝いさせて貰える事を心に誓い、頑張っ



北海道学校体育研究大会・函館大会実行委員会に助成金を贈る、小笠原孝理事長と関係者。

平成26年7月22日

株式会社一才一 小笠原の創業者、故、小笠原亀吉翁の遺志である青少年の育英「地域社会・経済の発展を担う人づくり」の具現化のため、昭和55年に小笠原亀吉翁の遺産の一部を基金として、財団法人小笠原アカデミー奨学財団を設立いたしました。初代理事長は、故、小笠原金悦、二代目理事長は小笠原孝となり、今日迄に相当数の奨学金を受給された方から教師の道を歩まれ第一線の教育現場で活躍されている方も数多くいらっしゃいます。また、基金の増額として「故、小笠原孝子(小笠原孝夫人)の遺産の一部の寄付金」によって更なる充実を計り、平成24年には一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団に名称を改めました。新たに教育機関等への助成金を加えまして一段と社会貢献に努めて参ります。

理事長 小笠原 孝

「日吉が丘小学校」金管バンドの挑戦

日吉が丘小学校 教諭 古川典之

今まで勤務してきた学校では、顧問の補佐のような役割しか務めたことが無かった私が六年前の四月、日吉が丘小学校に赴任し、スクールバンドの正顧問を初めて引き受けることになりました。

前任者の西口昌司先生の取り計らいで、正式に赴任する前に金管バンドの子たちと出合いの場を頂くことができました。とても緊張しながら部室を入ると、大きく明るい声で、子ども達が挨拶してくれました。この気持ちのよい挨拶と、キラキラした満面の笑顔で出迎えてくれたことが、不安で一杯だった私の気持ちを軽くしてくれました。そして「いつかこの子たちと全国大会のステージに立ちたい」という目標をもってバンド運営をしていくようになりまし

た。

日本では馴染みの薄い金管バンドは、プロとして活動している団体が少なく、出版されている楽譜も、指導に役立つ文献も吹奏楽に比べるとはるかに少ないのが現状

です。そんな中で、日本に金管バンドを広めた洗足学園音楽大学名誉教授の山本武雄先生や、スクールバンドサポーターとして全国中を飛び回っている田川伸一郎先生

ら、たくさんの方々の手ほどきをしていただいたり、近隣校の先生方にアドバイスをいただいたりしながら、日吉が丘小学校金管バンドは、少しずつ金管バンド本来の柔らかく重厚なサウンドを奏でることができるようになってきました。ただ大きい音が出るだけで、色彩感の乏しい編成という印象の強い金管バンドが、コンクールなどで好成绩をあげるのは、金管バンドならではのサウンドをつくるのが最優先だと思つたからです。こういったサウンドづくりをしていくうちに子ども達は、「金管バンドってかっこいい」と思うようになり、自分たちがやっていることに自信と誇りをもつようになり、子ども達の活動をサポートして下さっている保護者の方々も、今まで以上に前向き

にバンドの活動に携わってくださるようになりました。そして、少しずつコンサートやコンクールでの演奏内容が良くなっていくと、今度は学校の友だち、地域の方々までもが金管バンドの子ども達を大切に思ってくれるようになり、学校と地域が一つのチームになったようでした。

金管バンドの部員は、毎年入れ替わります。ですから、その年によって少しずつ音楽に変化が生じます。しかし毎年の子ども達の努力により、日吉が丘小学校金管バンドならではのサウンドは、きちんと受け継がれています。同様に、学校と地域が一つのチームになっていく状況もちゃんと受け継がれているのです。

日吉が丘小学校金管バンドの挑戦が、音楽を心から楽しみ、目標を持って取り組む子どもを育成しているだけでなく、子ども達と地域の繋がりを生んでいることを、たくさんの方々知っていただき、ぜひそれぞれの地域の子ども達の活躍を応援する輪が広がるよう、今後も金管バンドの指導に励んでいきたいと思っております。



優秀賞 フォトライブ 第19回 日本管楽合奏コンテスト [2013年11月4日開催]
文部科学省文化庁主催
 北海道 函館市立日吉が丘小学校 指揮:古川 典之
 最大なる栄誉-コン王の物語/作曲:P. スパーク

活動資金の助成

平成26年5月29日
 一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団が4年連続全国出場の数少ない日吉が丘小学校を訪れ、活動資金として小笠原理事長が助成金を贈った。
 金管バンド(朝地亜美部長、36人)がお礼に校歌「アナと雪の女王」の主題歌「Let it Go」を演奏し、感謝を伝えた。

諸君の可能性を咲かせよう

向学心に燃える若人へ奨学金 奨学生募集要項

【資格】

- ・原則として、道南地方の住民の子女であること。
- ・大学又は大学院、専門学校又は専修学校、高等学校に在学するもの。
- ・向学心に富み、かつ修業の見込みがあること。
- ・経済的な理由により、就学困難な事情があること。
- ・将来、国家及び社会に役立つと認められる者。

【貸与額(月額)】

- ・大学又は大学院 25,000円
 - ・専門学校又は専修学校、短大 20,000円
 - ・高等学校 15,000円
- ※奨学金は原則として、6ヶ月分を一括貸与する。(年2回)

【返還】

- ・奨学金の貸与が終了した日から1年を経過した日以後、貸与を受けた年数の3倍の期間内に返還すること。
- ・返還方法は年賦、半年賦、月賦、その他の方法による。

【申込方法】

- ・所定の用紙(在学学校または財団事務局に申請)に必要な事項を記載し、必要書類添付の上、在学学校を通じて申し込む。

教育の振興機関に助成金 教育機関等への助成要項

【助成対象】

- ・学校等の教育機関及び地域社会の教育の振興に関わる機関。

【助成額】

- ・助成額は1案件につき事業費の50%とし、上限を30万円とする。

【申請書】

- ・申請書の様式は特に問わないが、下記事項を明記のこと。

1. 事業名称
2. 事業及び費用の概要
3. 事業の収支計画書

【例1】

- ① ○○小学校口口部 全国大会出場の場合
- ② ○○小学校口口部 全国大会(東京都)へ出場が決定しましたので、旅費などの一部を助成していただきたく、
- ③ ※かかる費用の内訳等を詳しく記入のこと。

【例2】

- ① ○○中学校の図書充実
- ② ○○中学校の図書室にある図書を充実するための図書購入の費用の一部を助成していただきたく、
- ③ ※かかる費用の内訳等を詳しく記入のこと。

申込期間 例年：4月1日～5月末日まで

※詳しいお問い合わせは当財団事務局へ

株式会社 テーオー小笠原 本社総務部 ☎0138(45)3911

平成26年度の新規奨学生4人に!

平成26年度の新規奨学申請がそれぞれの大学・高校より、成績優秀で向学心に富んだ生徒さんの推せんをいただきました。当財団の理事会、評議員会において4名が決定いたしました。

一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

平成26年度 役員名簿		平成26年度 評議員名	
役職名	氏名	氏名	氏名
代表理事(理事長)	小笠原 亨	小笠原 正	小笠原 正
副 理 事	小笠原 弘	小笠原 康正	小笠原 康正
常務執行理事(事務局長)	小笠原 崇	齊藤 貞昭	齊藤 貞昭
理 事	野 又 崇	丹 崎 子	丹 崎 子
理 事	安 島 康	近 野 功	近 野 功
理 事	橋 本 守	庄 河 隆 枝	庄 河 隆 枝
理 事	川 内 敏 三郎	羽 根 田 茂 行	羽 根 田 茂 行
理 事	村 田 英 二	小 笠 原 勇 人	小 笠 原 勇 人
理 事	竹 内 行 雄	野 村 辰 彦	野 村 辰 彦
監 事	齊 藤 一 雄	成 田 昌	成 田 昌
監 事	平 野 利 明	野 口 博 敏	野 口 博 敏

事務局 函館市港町3-18-15 御テーオー小笠原本社総務部



一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団 平成26年度定時総会 2014.7.4テーオー本社